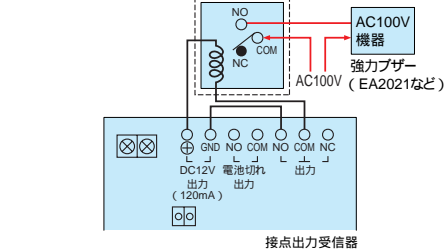
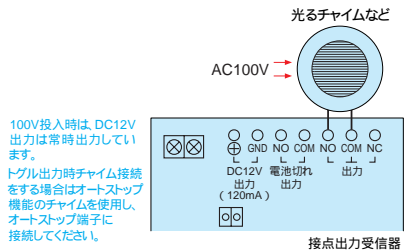


接点出力受信器に接続する制御機器の配線方法(接点出力受信器はECE5101(1出力用) を示します。)

1.接続機器がAC100V電源で動作する場合

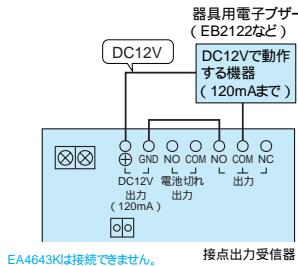
〔 光るチャイム(EC170)や、
メロディサイン(EC730W など) 〕

AC100Vの負荷機器が制御できるリレー
〔HG1リレー(AP6221F)、
HG1リレーソケット(AP68279)など〕
リレーは1台のみ接続可能



○：連結端子 ⊗：ネジ端子 —：信号線 →：AC100V用電源線

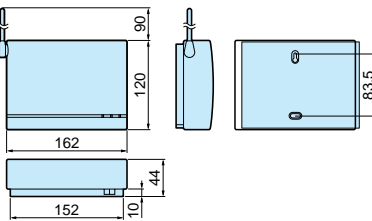
2.接続機器がDC12V電源で動作する場合



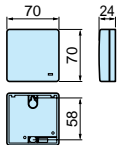
EA4643Kは接続できません。

寸法図(寸法表示単位:mm)

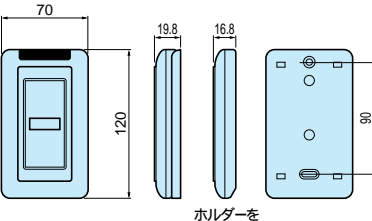
ECE5101・ECE5104



ECE5301



ECE5331・ECE5332・ECE5333



ホルダーを
外した状態

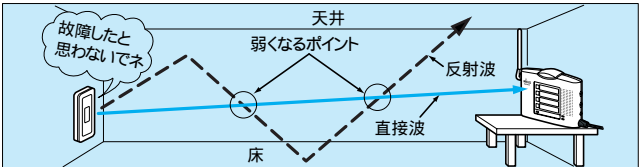
小電力型ワイヤレス商品の使用上のご注意

小電力型ワイヤレスコール携帯受信器と発信器の電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約30mで携帯受信器以外の小電力型ワイヤレスコール受信器の電波到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。
「サービスコール受信器と発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器」の電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。

周囲環境により短くなる場合があります。電波が届かない、または届きにくい場合は、中継器(ECE1680)やワイヤレス用アンテナ(ECE3501)をご使用いただき、動作を確認してください。

- 電波の到達距離は次のような使用場所の環境によって短くなったり電波が届かなくなることがあります。
- ・発信器と受信器の間に、金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある場合。
- ・壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している場合。
- ・周辺が金属物で囲まれるような場所に置いた場合。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- ・テレビ、ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局が近くにある場合。
- ・発信器近くで携帯電話やPHS電話を使用していた場合。
- ・携帯受信器を所持している人の向きで電波を遮っている場合。
- ・近くで直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している場合。

到達範囲内でも電波が弱くなる場所がありますので注意してください。



受信器と発信器・送信器は50cm以上離してご使用ください。
近すぎると動作しない場合があります。
設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので定期的に動作確認をしてください。
電波(ノイズ)を受けると誤動作や動作しない原因となることがあります。

- ・受信モニターが赤色点灯・点滅するとき、蛍光灯、冷蔵庫、コードレス電話機、パソコン、電子レンジなどの電波(ノイズ)を受けている場合があります。電波(ノイズ)を出している家電商品やOA機器から受信器を2m以上離してください。また発信器も電波(ノイズ)を出している家電商品やOA機器から2m以上離してください。
- ・マイクロ波治療器の近く(約10m以内)では動作しません。

受信器や発信器の設置場所を変更する場合は、あらかじめ動作確認を行ってください。
落としたりすると故障の原因となります。
受信器と発信器の周波数は同じ周波数チャンネルに設定してください。
違う周波数では動作しません。
同じ周波数チャンネルであれば1台の発信器で受信器は何台でも鳴らすことができます。
2台以上の発信器から同時に操作すると、受信器は動作しないことがあります。故障ではありません。
送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。
発信器は、総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けられている表示(㊥マーク)は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている製品は総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。

改造すると法律により罰せられることがあります。

小電力型ワイヤレス商品(ECE品番) 小電力型ワイヤレスセキュリティ商品(ECD品番) 微弱型ワイヤレス商品(ECA品番)は互換性はありません。
必ず小電力型ワイヤレス商品(ECE品番)の受信器と発信器の組み合わせでご使用ください。

ご注意

この商品は報知・連絡用であり生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。
電波の届く距離は周囲環境により短くなる場合があります。

電波到達距離を広げる小電力型ワイヤレス中継器。

特長

小電力型ワイヤレスコール発信器からの電波を受信して、小電力型ワイヤレス受信器へ中継し、電波到達範囲を広げます。

電源コード付きなので配線工事は不要です。
発信器1台につき最大2台まで使用できます。
(2台使用時は必ず台数設定をしてください)
発信器登録台数は、組み合わせる受信器の発信器登録可能台数と同じです。

ワイヤレス中継器をご使用になるには、中継器と発信器の登録及び発信器と受信器の登録が必要です。

組み合わせる小電力型ワイヤレスシリーズの受信器

小電力型ワイヤレスコール車上受信器(受信4表示付)
小電力型ワイヤレス接点出力受信器(4出力用 / 1出力用)

小電力型ワイヤレスコール携帯受信器

小電力型ワイヤレスサービスコール受信器(マルチタイプ)
小電力型ワイヤレスサービスコール受信器(シンプルタイプ)

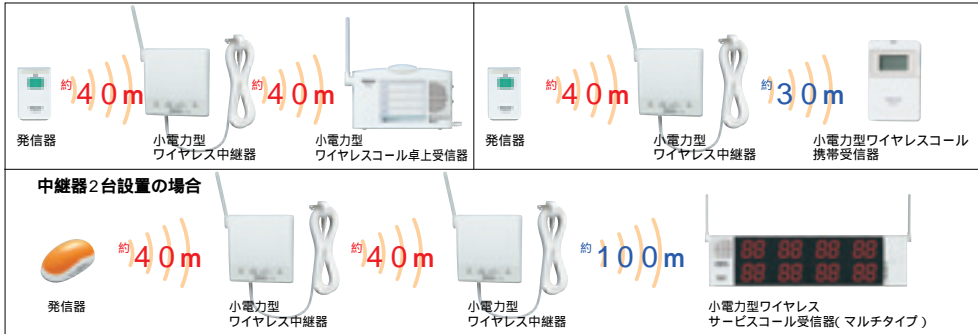
新 M ECE1680

希望小売価格25,000円 税抜

小電力型ワイヤレス中継器

注)ワイヤレスリモコンには使用できません。

電波到達距離 (障害物のない場所での水平見通し距離)



電波到達距離は、受信器側の仕様によります。

仕様(ECE1680)

電 源	AC100V 50/60Hz
消 費 電 力	待機時0.5W 動作時0.8W
使 用 周 波 数	CH. 1(426.0250)MHz CH. 3(426.0500)MHz CH. 5(426.0750)MHz CH. 7(426.1000)MHz 周波数設定スイッチにより選択 1
電 波 の 到 達 距 離	発信器～中継器 約40m 2 中継器～受信器(ワイヤレスサービスコール、携帯受信器以外) 約40m 2 中継器～携帯受信器 約30m 2 中継器～中継器 約40m 2 (使用場所の環境により短くなります。) 注) ワイヤレスサービスコールの場合は、P.18頁をご参照ください。
使 用 温 度 範 囲	0 ～ + 40
質 量	約450g

1 受信器や発信器・送信器と周波数CHを合わせてください。
2 障害物のない場所での水平見通し距離

中継器を2台使用する場合の設定方法

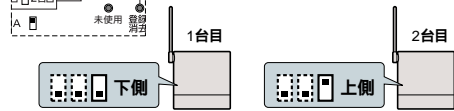
同一システムでは、中継器を最大2台まで使用できます。
ただし、下記の内容を必ず守ってください。

1 台数設定が必要です。

同一システム内で2台の中継器を区別するために台数設定が必要です。

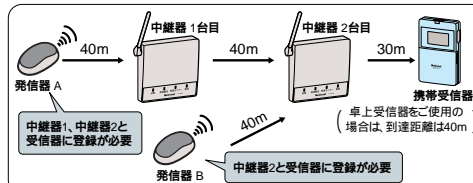
中継器(設定時) 台数設定スイッチ(右端の設定スイッチ)

1台目の中継器は下側、2台目の中継器は上側に設定してください。
出荷時は1台目(下側)に設定されています。



2 中継器に発信器をそれぞれ登録します。

中継器1、中継器2と受信器に登録が必要です。
(受信器にも登録が必要です。)

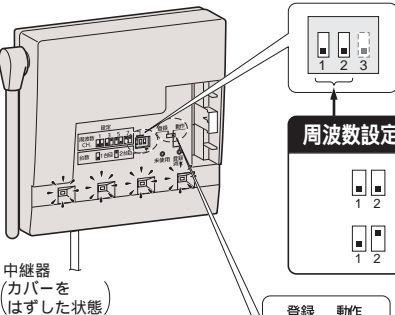


ワイヤレス中継器の登録方法

1 中継器の電源プラグを差し込む

2 周波数チャンネルを確認する

中継器と受信器、発信器、送信器の周波数チャンネルが同じであることを確認する。



3 中継器の台数を設定する

中継器を2台使用する場合、台数設定が必要です。(上図参照)

4 中継器に発信器、送信器を登録する

モード切替スイッチを「登録」モードにする
(送信表示灯と電源表示灯が点滅します)

登録する発信器・送信器を動作させる
(受信モニター、受信確定表示灯が点滅し、送信表示灯が約2秒間点灯すれば登録完了です。(電源表示灯は点滅し続けます。))
発信器、送信器を複数台登録する場合は、送信表示灯が点滅しているときに順次動作させてください。

5 モード切替スイッチを動作モードに戻す

(送信表示灯は消灯し、電源表示灯が点灯します。)

※ 別途、受信器に発信器、送信器を登録する必要があります。